Panasonic

インストールマニュアル

P2 ソフトウェア

P2

micro P2

P2HD

JAPANESE

M0509KT6033 -PS

VQT2G25-6 (J)

目　次

ご使用上の注意 2
Windows をお使いの場合 3
1. インストールの前に. 3
2. パーソナルコンピューターにおける P2 カード取り扱い上の注意. 4
3. インストールされるソフトウェア 4
4. P2 用ソフトウェアのインストール 5
5. 新しい P2 デバイスの追加 11
6. P2 用ソフトウェアのアンインストール. 12
7. 内蔵 P2 ドライブの設定 12
8. P2 用ドライバーのインストール状態確認 13
9. P2 用ドライバーのバージョン確認 15
10. 各 P2 デバイス専用ソフトウェア 15
11. P2 カードフォーマッター. 16
12. Windows 7、Windows 8 をお使いの場合. 18
Macintosh をお使いの場合. 19
1. インストールの前に. 19
2. P2 用ソフトウェアのインストール 20
3. P2 カードフォーマッター. 21
4. 各 P2 デバイス専用ソフトウェア 23
CPS 暗号化機能について. 24

ご使用上の注意

付属の CD-ROM に収録されているソフトウェアを、有償、無償にかかわらず、再配布することを禁止します。また、付属の CD-ROM に収録されているソフトウェアを、当社の許可なくソフトウェアやハードウェアの製造および販売に利用することを禁止します。
また、弊社は、本システムの使用または使用不能から生じる一切の損失、損害に関して責任を負いません。たとえ、弊社が、そのような損害の可能性について知らされていた場合でも同様です。

Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
Macintosh、Mac OS は米国 Apple Inc. の登録商標です。
その他会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

- 本書では、Microsoft® Windows®、Windows® XP Professional、Windows® 7 Professional、Windows® 7 Ultimate または Windows® 8 を「Windows」、「Windows XP Professional」、「Windows 7 Professional」、「Windows 7 Ultimate」または「Windows 8」と表記します。
- 本書では、Macintosh®、Mac OS® X を「Macintosh」、「Mac OS X」と表記します。

Windows をお使いの場合

1. インストールの前に

付属の CD-ROM は、Panasonic P2 カードの内容を、パーソナルコンピューター上で参照するための、P2 用ソフトウェアをインストールします。
ソフトウェアをインストールするパーソナルコンピューターは、下記の条件を満たしている必要があります。

- **OS** Windows XP Professional (SP3) 32 bit
  Windows 7 Professional (SP1)、Ultimate (SP1) 32 bit/64 bit
  Windows 8 32 bit/64 bit
- **RAM** 512MB 以上推奨
  Windows 7、Windows 8 の場合は 1 GB 以上推奨
- **CPU** Pentium®4 1.5 GHz 以上推奨
- CD-ROM が読み込めるドライブを装備している。

実際にソフトウェアを使用する際や、P2 カードまたは P2 デバイス(P2 ドライブ、P2 デッキ等)と接続する際には、さらに以下の条件が必要になります。

パーソナルコンピューターのカードバスに、直接 P2 カードを挿入して使用する場合

- Type Ⅱカードバススロットを搭載している。

<ノート>

- P2 デバイスを接続する場合、パーソナルコンピューターで使用できる空きドライブ数は、各 P2 デバイスが必要とするドライブ数以上を確保してください。
  (P2 デバイスが必要とするドライブ数とは、P2 カードスロット数および P2 デバイスに内蔵されているハードディスクが必要とするドライブ数です。)
- Windows 7、Windows 8 の場合、インストールやフォーマットなどを行う際に「ユーザーアカウント制御」のパネルが表示されることがあります。その場合は「許可」をクリックして操作を継続させてください。
- A ドライブと B ドライブには、P2 デバイスを割り当てないでください。

2. パーソナルコンピューターにおける P2 カード取り扱い上の注意

パーソナルコンピューターに P2 カードまたは、P2 デバイスを接続してご使用される際には、必ず付属の CD-ROM で P2 用ドライバーをインストールしてください！

P2 用ドライバーをインストールしていないパーソナルコンピューターでこれらのデバイスを接続すると、デバイスが正しく動作しないことがあります。

P2 カードを読み出しているとき、および P2 カードに書き込み中には、以下の動作を行わないでください！

- **P2 カードをスロットから抜く**
- **P2 カードの「取り出し」操作をする**
- **USB ケーブルの抜き差しや、USB 端子の設定変更をする**

パーソナルコンピューターの動作が、異常になることがあります。
また、P2 カードをカードスロットから抜く前には、以下の操作を行ってください。

- パーソナルコンピューターのカードバスに、直接 P2 カードを挿入している場合は、Windows のタスクトレイから、「ハードウェアの安全な取り外し」を実行します。
- パーソナルコンピューターに、USB3.0/USB2.0 で P2 デバイスを接続している場合は、マイコンピュータを開き、P2 カードを挿入している各機器で、右クリックをして、「取り出し」を選択します。
- P2 カードを使用するときは、パーソナルコンピューターのシステムがスタンバイ状態や休止状態にならないように設定してください。特に、P2 カードへのアクセス中にスタンバイ状態や休止状態になると、実行中のファイルやデータが壊れることがあります。

3. インストールされるソフトウェア

付属の CD-ROM では、下記のプログラムがインストールされます。

- P2 用ドライバー
- 各 P2 デバイス専用ソフトウェア

付属の CD-ROM でインストールを行うと、P2 カードのフォーマットが可能になります。フォーマットの方法については「11. P2 カードフォーマッター」（16 ページ）を参照してください。

また、付属の CD-ROM には各種取扱説明書も収められています。¥Manuals という名前のフォルダーを参照してください。
各種取扱説明書を閲覧するためには、アドビ社の Adobe® Reader が必要です。
Adobe Reader がパーソナルコンピューターにインストールされていないときは、アドビ社の Web サイトよりダウンロードしてください。

4. P2 用ソフトウェアのインストール

<ノート>

- インストールは、Administrator 権限を持つユーザー名でログインしたあとで、行ってください。
- P2 デバイスを接続した状態でインストールを開始することを推奨します。
  P2 デバイスを接続すると、エクスプローラー上でデバイスのカードスロットの数だけドライブが追加表示されます。
- P2 カードは、各カードバススロットに対してドライバーをインストールする必要があります。カードバススロットが複数搭載されたパーソナルコンピューターをご利用の場合は、すべてのスロットに P2 カードを挿入してください。
  インストール時に P2 カードが挿入されていないスロットには、ドライバーがインストールされず、P2 カードが正しく動作しない場合があります。P2 カードを挿入しても、パーソナルコンピューターが認識しない場合は、P2 カードを挿入しなおしてください。
- Windows XP Professional の場合、Windows のドライバー署名オプションが「ブロック」になっていると、インストールに失敗することがあります。
  インストールに失敗した場合は、コントロールパネルのシステムプロパティでハードウェアタグを選択し、ドライバーのドライバー署名オプションで「ブロック」になっていないことをご確認ください。
- **インストール中に、本マニュアルで記述していないパネルが表示された場合は、「キャンセル」ボタンを押して終了させてください。**
- **ドライバーのインストール前に、パーソナルコンピューターに P2 カードなどのデバイスを接続すると、図 1 のようなパネルが表示されます。このパネルは必ず「キャンセル」ボタンを押して終了させてください。**

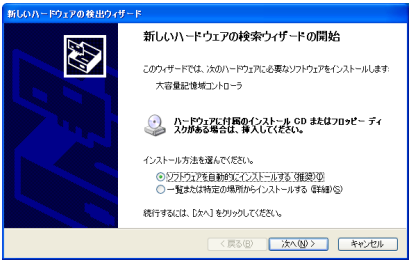

図 1
（Windows XP Professional の場合）

- **Windows XP Professional で 1.07.0048 以前のバージョンの P2 用ドライバーをインストール済みの方へ**
  バージョンを確認する方法については「9. P2 用ドライバーのバージョン確認」を参照してください。
  新しいドライバーをインストールするには現在インストールされているドライバーを一度アンインストールする必要があります。アンインストールすると、これまでにインストールされた情報はすべて削除されます。アンインストールの方法や注意点については「6. P2 用ソフトウェアのアンインストール」を参照してください。
  また、P2 用ドライバーをアップグレードする手順中に、旧バージョンの P2 用ドライバーをアンインストールすることもできます。いずれの場合も Windows の再起動が必要になる場合があります。
- OS が Windows 7、Windows 8 のパーソナルコンピューターで、P2 用ドライバーをアップグレードする場合、図 2 のようなパネルが表示されることがあります。この場合は「OK」ボタンを押してください。

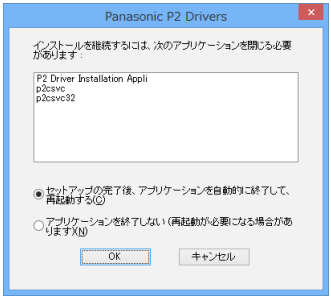

図 2

「1. インストールの前に」の各項目を確認後、以下の手順に従い、パーソナルコンピューターに P2 用ソフトウェアをインストールしてください。

1 全てのアプリケーションを終了し、使用する P2 カードまたは、P2 デバイスを接続してください。
デバイス接続時に、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されますが、「キャンセル」ボタンを押して、ウィザードは終了してください。

2 付属の CD-ROM を挿入し、「マイコンピュータ」から CD-ROM を開きます。

3 32bit 版 Windows の場合は「Win32」フォルダーを、64bit 版 Windows の場合は「Win64」フォルダーを開き、setup.exe を実行してください。
図 3 が表示され、セットアップが開始されます。「次へ」ボタンをクリックしてください。

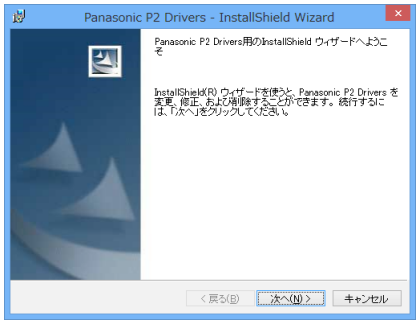

図 3

4 **（Windows XP Professional で 1.07.0048 以前のバージョンの P2 用ドライバーをインストール済みの方へ）**

図 4 が表示されます。新しいドライバーをインストールするには現在インストールされているドライバーを一度アンインストールする必要があります。
このままアンインストールする場合は「OK」ボタンを押してください。
手動でアンインストールする場合は「キャンセル」ボタンを押してください。手動でアンインストールするには「6. P2 用ソフトウェアのアンインストール」を参照してください。

図 4

5 図 5 のように、使用許諾契約の画面が表示されます。内容に同意される場合は、「使用許諾契約の条項に同意します」をクリックしてボックスにチェックを入れ、「次へ」ボタンをクリックします。

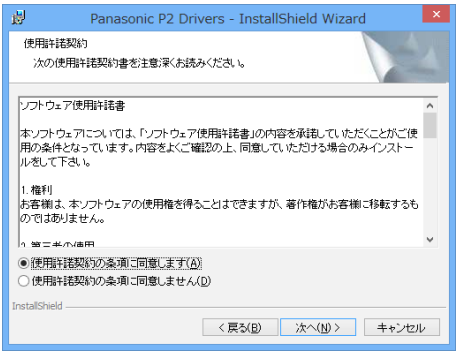

図 5

6 図 6 のように、インストール先フォルダー設定ウィンドウが表示されます。
インストール先のフォルダーを変更する場合は「変更」ボタンを押してインストール先を設定してください。インストール先が設定できましたら、「次へ」ボタンをクリックしてください。

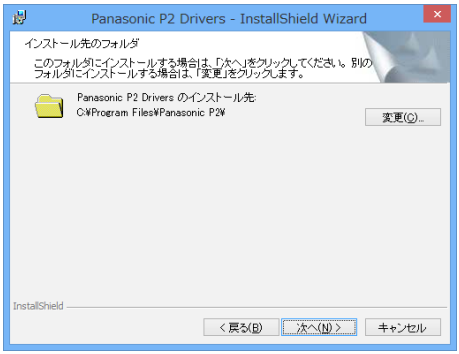

図 6

7 図 7 のように、インストール開始ウィンドウが表示されますので、「インストール」ボタンを押してください。

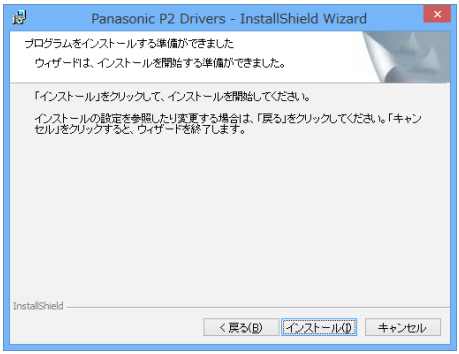

図 7

8 図 8 のように、インストール中のステータス表示ウィンドウが表示され、インストールを行います。

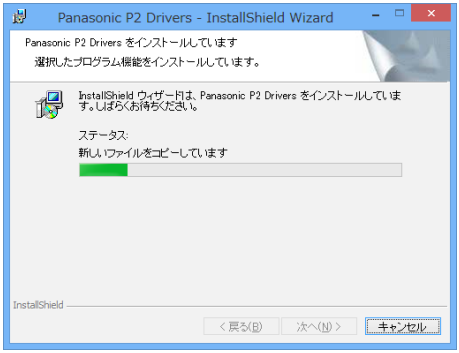

図 8

9 図 9 のように、インストールする各デバイス用のドライバーを選択するウィンドウが表示されます。
USB 以外のドライバーをインストールする場合は、チェックマークを付けて「OK」ボタンをクリックしてください。
USB ドライバーは自動でインストールされます。

- すでにインストールされているデバイスのドライバーは、インストールする必要がありません。インストール状態の確認は、13 ページを参照してください。

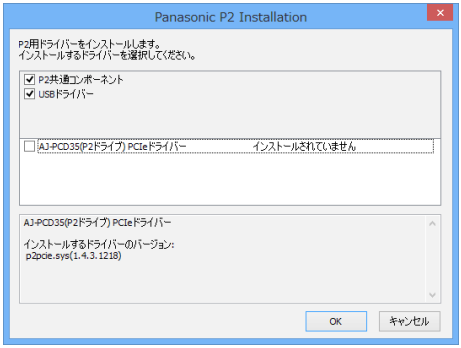

図 9

10 手順 **9** でチェックマークを付けて「OK」ボタンをクリックした場合は、図 10 のように、P2 カードまたは、P2 デバイスの接続を促すパネルが表示されます。
インストールする必要があればデバイスを接続し、「インストール」ボタンを押してください。デバイスを使用しない場合は、そのまま「キャンセル」ボタンを押してください。
なお、インストールしなかったデバイスを後で追加する場合は、再度インストーラーを実行して、上書きインストールを行います。詳しくは「5. 新しい P2 デバイスの追加」を参照してください。

<ノート>
インストール中に他のウィンドウにフォーカスを移すと、このパネルが他のウィンドウの後ろに隠れてしまうことがあります。図 8 のパネルが表示されたまま、ステータス表示が変化しない場合は、図 10 のようなパネルが他のウィンドウの後ろにないか確認してください。

図 10

11 Windows XP Professional の場合

図 11 のような警告パネルが表示されることがありますが、「続行」をクリックしてください。警告パネルは複数回、表示されることがあります。

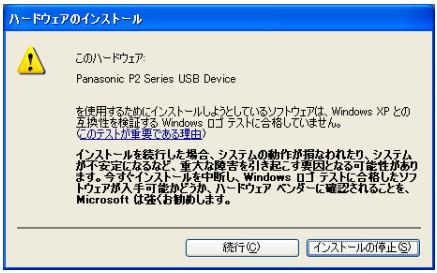

図 11

Windows 7/Windows 8 の場合

図 12 のような警告パネルが表示されることがありますが、「このドライバーソフトウェアをインストールします」をクリックしてください。警告パネルは複数回、表示されることがあります。

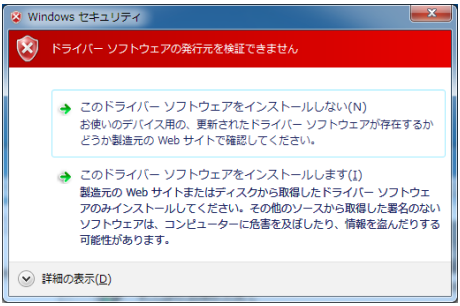

図 12

12 (Windows XP Professional で 1.07.0048 以前のバージョンの P2 用ドライバーをインストール済みの方へ)

図 13 のような警告パネルが表示されることがあります。この場合、旧バージョンの P2 用ドライバーのアンインストールは完了していますが、新しいバージョンのドライバーはインストールされていません。「OK」ボタンを押してインストーラーを終了して Windows を再起動し、再度、手順 *1* からインストールをしてください。

図 13

13 図 14 のように、インストール完了ウィンドウが表示され、インストールは完了します。

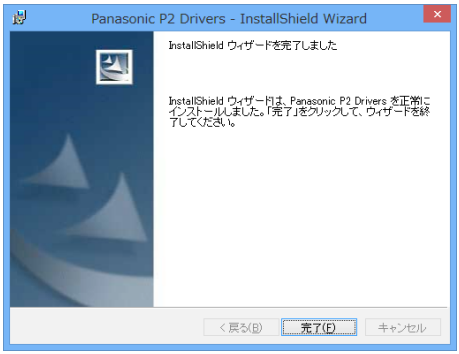

図 14

14 図 15 のように、再起動を促すパネルが表示されます。「はい」ボタンをクリックして、パーソナルコンピューターを再起動してください。

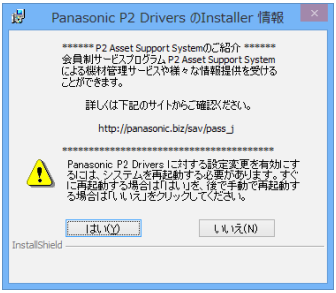

図 15

15 P2 機器を USB 接続で使用する場合は、再起動後、次の手順で USB ドライバーのインストールを行ってください。

1. P2 デバイスを 1 台のみ接続します。
2. Windows 7／Windows 8 の場合、図 16 のような警告パネルが表示されることがあります。その場合は「はい」をクリックしてください。

図 16

3. 接続された P2 デバイス用の USB ドライバーがインストールされていない場合は、図 17 のような画面が表示されます。図 17 のような画面が表示されない場合は、USB ドライバーが既にインストールされていますので、以降の作業は不要です。

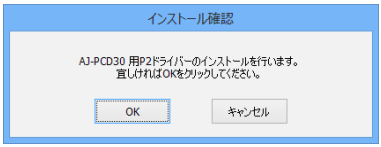

図 17

4. 図 17 の画面で「OK」ボタンをクリックすると、USB ドライバーのインストールが行われます。
Windows XP の場合、インストール中に警告パネル（図 11）が表示されることがありますが、「続行」をクリックしてください。

5. USB ドライバーのインストールが完了すると、図 18 のような画面が表示されます。
この後、継続して他の P2 デバイスの USB ドライバーのインストールを行う場合は、「閉じる」ボタンをクリックして画面を閉じ、接続していた P2 デバイスを取り外した後、再度、手順 *1.* からインストールを行ってください。
P2 ドライブを 2 台接続する場合は、「閉じる」ボタンをクリックして画面を閉じ、接続している P2 ドライブはそのままで 2 台目の P2 ドライブを接続して、手順 *2.* からインストールを行ってください。
USB ドライバーのインストールを終了する場合は、「再起動」ボタンをクリックしてパーソナルコンピューターを再起動してください。

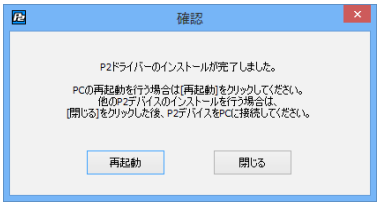

図 18

<ノート>
P2 ドライブを 2 台接続している場合、パーソナルコンピューターを再起動したときに再度、図 17 の画面が表示される場合があります。そのときは「OK」ボタンをクリックして、USB ドライバーのインストールを行ってください。

5. 新しい P2 デバイスの追加

すでに P2 用ソフトウェアがインストールされているパーソナルコンピューターで、新しい P2 カードまたは、P2 デバイスを（USB 以外で）接続する場合には、「4. P2 用ソフトウェアのインストール」の手順に従って P2 用ソフトウェアを上書きインストールしてください。
上書きインストールの場合は、図 19 のようなウィンドウが表示され、図 5 のような使用許諾契約の画面は表示されません。
このウィンドウで「修復」のチェックボックスにチェックを入れ、「次へ」ボタンをクリックしてください。
表示される画面の手順に従った後、パーソナルコンピューターを再起動してください。

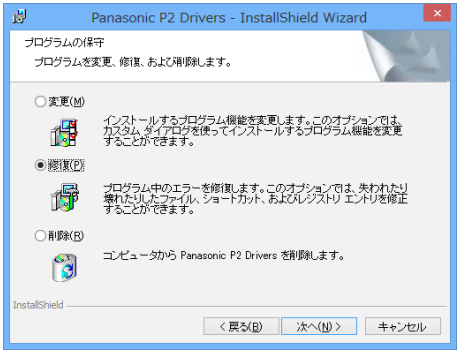

図 19

<ノート>
上記の画面は、すでにインストールされている P2 用ソフトウェアとインストーラーが同じバージョンのときに表示されます。

6. P2 用ソフトウェアのアンインストール

P2 用ソフトウェアをアンインストールする場合は以下の手順で実施してください。

Windows 7/Windows 8 の場合
コントロールパネルの「プログラム」パネル内の「プログラムと機能」パネルで、「Panasonic P2 Drivers」を選択し、「アンインストール」ボタンをクリックします。

Windows XP Professional の場合
コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」パネルで「Panasonic P2 Drivers」を選択し、「削除」ボタンをクリックします。

表示される画面の手順に従ってアンインストールの処理が終了したら、パネルの指示に従って、パーソナルコンピューターを再起動してください。

<ノート>

- アンインストールするとこれまでにインストールされた情報はすべて削除されますので、再度インストールする場合はご使用になるすべてのデバイスのドライバーをインストールする必要があります。
- OS が Windows 7、Windows 8 のパーソナルコンピューターで、P2 用ドライバーをアンインストールする場合、図 20 のようなパネルが表示されることがあります。この場合は「OK」ボタンを押してください。

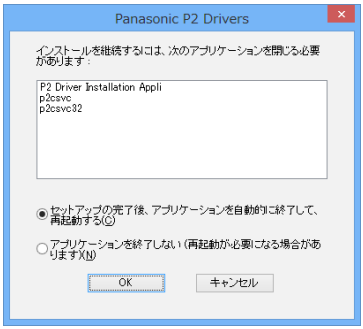

図 20

7. 内蔵 P2 ドライブの設定

P2 ドライブをパーソナルコンピューターの 5 インチベイに内蔵してお使いになる場合、P2 カード用ソフトウェアをインストールし、P2 ドライブをパーソナルコンピューターに接続した後、以下の設定を行ってください。

1 **Windows 8 の場合**
デスクトップ画面の右上または右下にマウスカーソルを移動し、表示されるバーから「検索」を選びます。アプリの一覧が表示されますので、「Panasonic P2」グループの中にある「P2 ドライブの内蔵設定」を選びます。

Windows 7/Windows XP の場合
「スタート」メニューより「すべてのプログラム」→「Panasonic P2」→「P2 ドライブ設定」と選択し、さらにそこから「P2 ドライブの内蔵設定」を選びます。

2 図 21 のようなパネルが表示されますので、「OK」をクリックしてください。

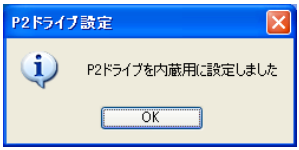

図 21

8. P2 用ドライバーのインストール状態確認

「新しいハードウェアの検出ウィザード」（図 1）で標準のドライバーがインストールされたり、何らかの原因で P2 用ドライバーがアンインストールされたりすると、P2 デバイスが正しく動作しなくなります。
以下のような現象が生じた場合は、P2 用ドライバーが正しくインストールされているか確認し、ドライバーが正しくインストールされていない場合は、再度インストールを行ってください。

- P2 カードまたは、P2 デバイスが認識されない。
- P2 カードまたは、P2 デバイスからの読み出しができない。
- P2 カードまたは、P2 デバイスへの書き込みができない。
- P2 カードまたは、P2 デバイスからの再生でコマ落ちが多発するなど、パフォーマンスに問題がある。

AJ-PCD20 用 1394 ドライバー、AJ-PCD35 用 PCI EXPRESS ドライバー確認方法

AJ-PCD20、AJ-PCD35 の取扱説明書を参照してください。

P2 カード用ドライバー、P2 デバイス用 USB ドライバー確認方法

<ノート>

P2 用ドライバーが正しくインストールされているか確認する際には、必ず確認対象のデバイスをパーソナルコンピューターに接続してください。接続されていないデバイスは下記の方法では確認できません。

Windows 8 の場合

デスクトップ画面の左下にマウスカーソルを移動して右クリックします。
メニューが表示されますので、「デバイスマネージャー」をクリックします。

Windows 7 の場合

「スタート」メニューより「コンピューター」を右クリックして「プロパティ」を選択し、システムのプロパティを表示します。ウィンドウ左上の「デバイスマネージャー」をクリックします。

Windows XP Professional の場合

「スタート」メニューより「コントロールパネル」を開き、「システム」を選択し、システムのプロパティを表示します。「ハードウェア」タグを選択し、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

1 P2 デバイスに対するドライバーの表示を確認します。

P2 カード用ドライバーの確認

「IDE ATA/ATAPI コントローラ」-「Panasonic P2 Card」が設定されている。「P2 Disk Drive」-「P2Card Series Cached Disk」が設定されている。

P2 デバイス用 USB ドライバーの確認

「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」-「Panasonic P2Series USB Device」が設定されている。

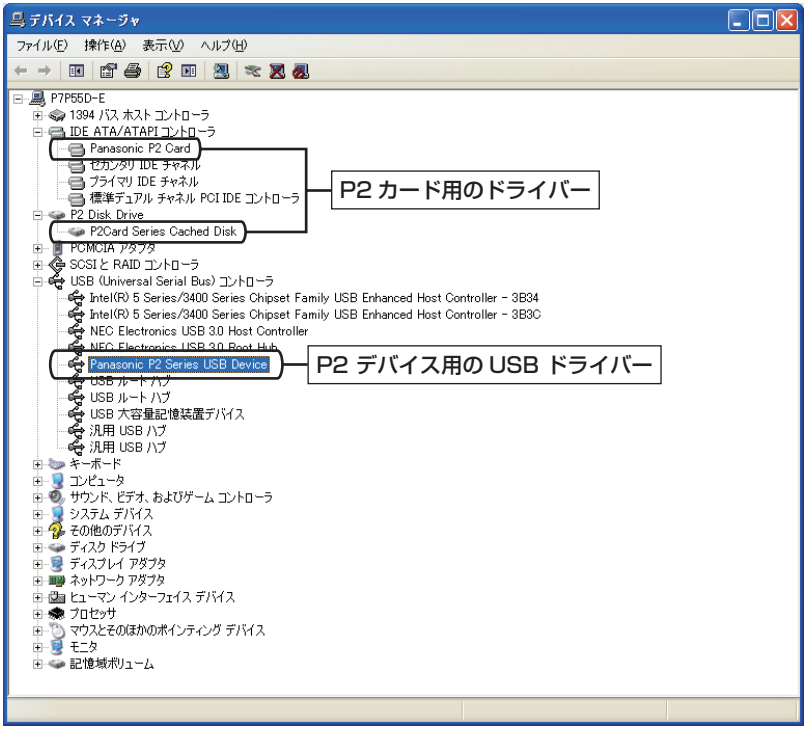

図 22

9. P2 用ドライバーのバージョン確認

Windows 7、Windows 8 の場合
コントロールパネルの「プログラム」内の「プログラムのアンインストール」を選択して表示される一覧画面にバージョンが表示されます。

Windows XP Professional の場合
コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」パネルで「Panasonic P2 Drivers」を選択し、サポート情報を参照してください。

10. 各 P2 デバイス専用ソフトウェア

P2 用ソフトウェアがインストールされると、各 P2 デバイス専用ソフトが同時にインストールされます。
各デバイス専用ソフトウェアについては、それぞれの取扱説明書を参照してください。

11. P2 カードフォーマッター

P2 カードフォーマッターは、P2 カード、microP2 カードを P2 デバイス用にフォーマットするためのソフトウェアです。

フォーマットの手順

1 Windows エクスプローラーで、フォーマットするカードのドライブを右クリックします。表示されたメニューから「フォーマット」を選択します。

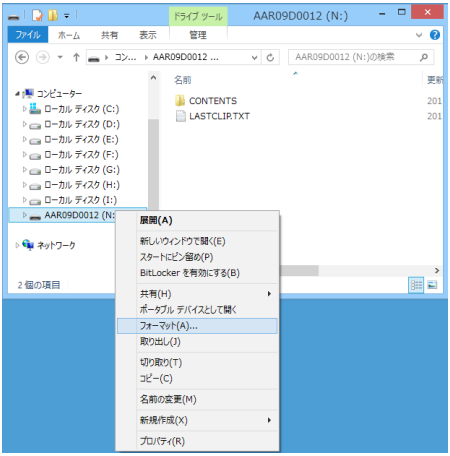

図 23

2 図 24 のようなウィンドウが表示されます。

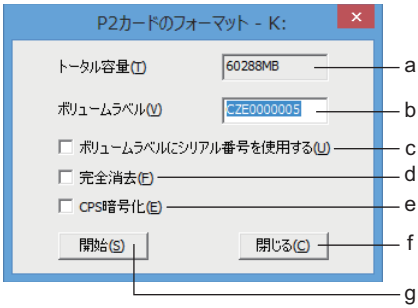

図 24

a カードの容量を表示します。
b 設定するボリュームラベル名を入力します。
c チェックを入れると、ボリュームラベルとしてカードのシリアル番号を入力します。
P2 カード /microP2 カード（CPS 認証済）の場合にチェック可能です。
d チェックを入れるとカード上のデータを完全に消去します。
P2 カード /microP2 カードの場合にチェック可能です。
e チェックを入れると、カードの CPS 暗号化機能を有効にします。
パーソナルコンピューターに自動認証用パスワードが設定済みで、microP2 カードの場合にチェック可能です。
CPS 暗号化機能の詳細は、「CPS 暗号化機能について」(24ページ)を参照ください。
f ウィンドウを閉じます。
g フォーマットを開始します。

3 ボリュームラベルなどの設定を行い、「開始」ボタンをクリックします。
E シリーズの P2 カード、または F シリーズの P2 カード /microP2 カード（CPS 認証済）の場合、図 25 のような残寿命表示のウィンドウが表示されますので、残寿命を確認し、「OK」ボタンをクリックします。

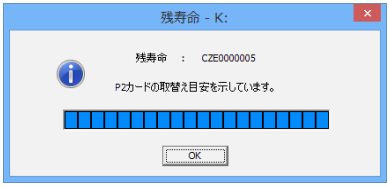

図 25

4 図 24 のウィンドウで「完全消去」のチェックボックスにチェックを入れていない場合、図 26 のような警告のウィンドウが表示されますので、確認して「OK」ボタンをクリックするとフォーマットが始まります。

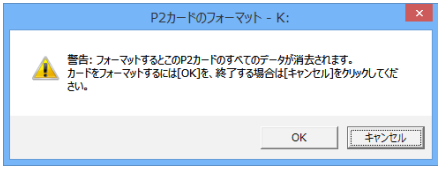

図 26

図 24 のウィンドウで「完全消去」のチェックボックスにチェックを入れた場合、図 27 のような警告のウィンドウが表示されますので、確認して「OK」ボタンをクリックします。

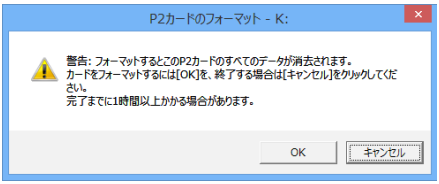

図 27

この場合、さらに図 28 のような警告のウィンドウが表示されますので、確認して「OK」ボタンをクリックするとフォーマットが始まります。

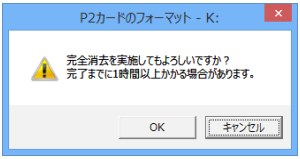

図 28

5 フォーマット中は、処理の進捗が図 29 のようにプログレスバーで表示されます。

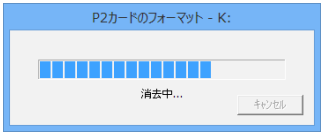

図 29

6 フォーマットが終了すると図 30 のようなウィンドウが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます。

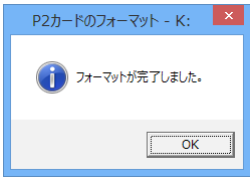

図 30

<ノート>

- フォーマットにより消去されたデータは復元することができません。フォーマットは必ずデータを確認した後に実行してください。
- フォーマットは Administrator の権限を持つユーザー名でログインして行ってください。
- 「ボリュームラベルにシリアル番号を使用する」にチェックを入れると、ボリュームラベル名としてカードのシリアル番号が自動的に入力されます。ただし、シリアル番号から変更して、別の名前を入力すると変更された名前でボリュームラベル名が設定されます。
- E シリーズの P2 カード、または F シリーズの P2 カード /microP2 カード（CPS 認証済）の場合、P2 カードの残寿命が以下のように表示されます。

残寿命	表示色	表示
100%～61%	青色	
60%～21%	緑色	
20%～9%	黄色	
8%～1%	赤色	
0%	赤色	RUN DOWN CARD

- 「RUN DOWN CARD」が表示された場合は、フォーマットを正常に行うことができません。
  １週間以内のデータバックアップとカード交換をおすすめします。
  引き続き使用された場合、正常に記録、または再生されないことがあります。
- 完全消去機能は書き込み動作と同等の処理を行いますので、残寿命が減少します。
- フォーマット後、エクスプローラーの表示が更新されない場合があります。この場合、エクスプローラーを一度すべて終了させてから起動しなおしてください。

12. Windows 7、Windows 8 をお使いの場合

ドライブの表示設定

初期状態では、P2 カードが挿入されていない空のドライブは、マイコンピューターやエクスプローラーのツリー上に表示されません。
ドライブを常に表示させる場合、Windows の「フォルダーオプション」で設定を変更してください。

ドライブ文字の割り当てについて

P2 ドライブなどを接続したとき、割り当てられるドライブ文字がスロット順にならない場合があります。
そのような症状が発生した場合、「ディスクの管理」でドライブ文字の割り当てを変更してください。

Windows 7 の IEEE1394b サポートについて

- AJ-PCD20 を IEEE1394b インターフェースで使用している場合は、ドライブ文字の変更はできません。
- P2 ドライバーをアップグレードする場合、AJ-PCD20 の IEEE1394b ドライバーをインストールする際に、「インストールされています」と表示されることがありますが、その場合も必ず IEEE1394b ドライバーのインストールを行ってください。

Windows 8 の IEEE1394b サポートについて

AJ-PCD20 の IEEE1394b インターフェースでの使用は、動作保証いたしません。
AJ-PCD20 は USB インターフェースでご使用ください。

Macintosh をお使いの場合

1. インストールの前に

付属の CD-ROM には、下記 P2 用ソフトウェアが入っています。

- P2 用ドライバー
- P2 カードフォーマッター
- 各 P2 デバイス専用ソフトウェア

ソフトウェアをインストールする Macintosh は、下記の条件を満たしている必要があります。

- **OS** Mac OS X 10.6 Snow Leopard
  Mac OS X 10.7 Lion
  Mac OS X 10.8 Mountain Lion

2. P2 用ソフトウェアのインストール

P2 用ソフトウェアは、P2 カードの内容を Macintosh 上で参照したり、P2 カードの操作を行ったりするために必要となるソフトウェアです。
P2 用ソフトウェアのインストールを行うと、以下のソフトウェアがインストールされます。

- USB ドライバー
- AJ-PCD20 用 IEEE1394b ドライバー
- AJ-PCD35 用 PCI Express ドライバー
- P2 カードフォーマッター

下記の手順でインストールを行ってください。

1 付属 CD-ROM を挿入します。

2 CD-ROM 内の「Macintosh」フォルダーをダブルクリックします。

3 **Mac OS X 10.6 の場合**
「SnowLeopard」フォルダーをダブルクリックします。

Mac OS X 10.7 の場合
「Lion」フォルダーをダブルクリックします。

Mac OS X 10.8 の場合
「Mountain Lion」フォルダーをダブルクリックします。

4 「P2Software」フォルダーをダブルクリックします。

5 「P2Software」フォルダーの中にあるディスクイメージモジュール「P2Software Install.dmg」をダブルクリックします。

6 「P2Software Install.mpkg」をダブルクリックします。
「"P2Software Install.mpkg" は、開発元が未確認のため開けません。」という内容の警告ウィンドウが表示されたときは、「OK」ボタンをクリックします。
あらためて「Ctrl」キーを押しながら「P2Software Install.mpkg」をクリックして、表示されるメニューで「開く」を選択してください。
「"P2Software Install.mpkg" の開発元は未確認です。開いてもよろしいですか？」という内容の確認ウィンドウが表示されますので、「開く」ボタンをクリックしてください。

7 ソフトウェアのインストールを開始しますので、画面の指示に従ってインストールを行ってください。

<ノート>
- P2 用ソフトウェアをインストールしていない場合は、十分な転送速度を得ることができません。
- P2 用ソフトウェアに関する最新情報は下記ウェブサイトをご覧ください。
http://panasonic.biz/sav/

3. P2 カードフォーマッター

P2 カードフォーマッターは、P2 カード、microP2 カードを P2 デバイス用にフォーマットするためのソフトウェアです。

フォーマットの手順

1 アプリケーションフォルダーにある P2Formatter のアイコンをダブルクリックします。
図 31 のような警告ウィンドウが表示されたときは、「OK」ボタンをクリックします。

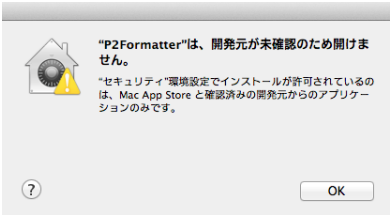

図 31

あらためて「Ctrl」キーを押しながら P2Formatter のアイコンをクリックし、表示されるメニューで「開く」を選択してください。
図 32 のような確認ウィンドウが表示されますので、「開く」ボタンをクリックしてください。

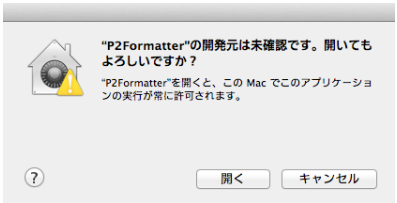

図 32

2 図 33 のような入力ウィンドウが表示されたときは、管理者権限を持つユーザーのアカウント名とパスワードを入力して「OK」ボタンをクリックしてください。
この場合、管理者のアクセス許可がないとフォーマッターが起動しません。

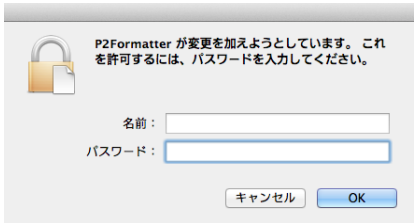

図 33

3 P2 カードフォーマッターが起動すると、図 34 のようなウィンドウが表示されます。

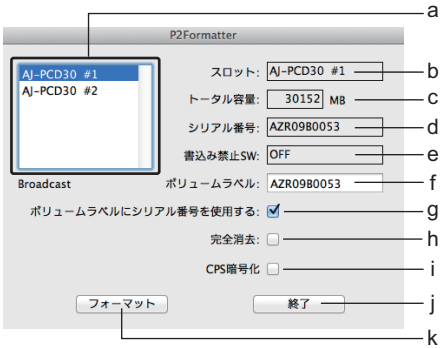

図 34

a フォーマットするカードが挿入されているスロットを選択します。
b 選択されたスロットを表示します。
c カードの容量を表示します。
d 挿入されているカードのシリアル番号を表示します。
SDHC/SDXC カードの場合は空欄になります。
e 書き込み禁止スイッチの状態を表示します。
f 設定するボリュームラベル名を入力します。

g チェックを入れると、ボリュームラベルとしてカードのシリアル番号を入力します。
P2 カード /microP2 カード（CPS 認証済）の場合にチェック可能です。

h チェックを入れるとカード上のデータを完全に消去します。
P2 カード /microP2 カードの場合にチェック可能です。

i チェックを入れると、カードの CPS 暗号化機能を有効にします。
Macintosh に自動認証用パスワードが設定済みで、microP2 カードの場合にチェック可能です。
CPS 暗号化機能の詳細は、「CPS 暗号化機能について」(24ページ)を参照ください。

j P2 カードフォーマッターのウィンドウを閉じます。

k フォーマットを開始します。

4 ボリュームラベルなどの設定を行い、「フォーマット」ボタンをクリックします。
E シリーズの P2 カード、または F シリーズの P2 カード /microP2 カード（CPS 認証済）の場合、図 35 のような残寿命表示のウィンドウが表示されますので、残寿命を確認して「OK」ボタンをクリックします。

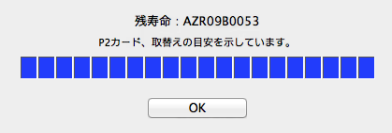

図 35

5 図 34 のウィンドウで「完全消去」のチェックボックスにチェックを入れていない場合、図 36 のような警告のウィンドウが表示されますので、確認して「OK」ボタンをクリックするとフォーマットが始まります。

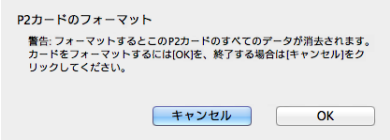

図 36

図 34 のウィンドウで「完全消去」のチェックボックスにチェックを入れた場合、図 37 のような警告のウィンドウが表示されますので、確認して「OK」ボタンをクリックします。

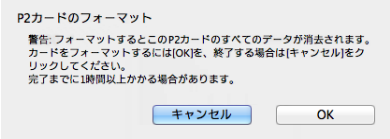

図 37

この場合、さらに図 38 のような警告のウィンドウが表示されますので、確認して「OK」ボタンをクリックするとフォーマットが始まります。

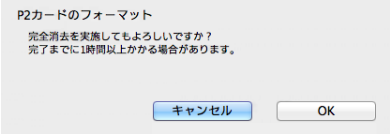

図 38

6 フォーマット中は、処理の進捗が図 39 のようにプログレスバーで表示されます。
フォーマット中に図 33 のような入力ウィンドウが表示されたときは、管理者権限を持つユーザーのアカウント名とパスワードを入力して「OK」ボタンをクリックしてください。
「キャンセル」ボタンをクリックするとフォーマットが正しく行われません。
この場合、カードは使用できない状態になりますので、再度フォーマットを行ってください。

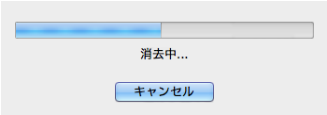

図 39

7 図 34 のウィンドウで「終了」ボタンをクリックし、フォーマッターを終了します。

＜ノート＞

- フォーマットにより消去されたデータは復元することができません。フォーマットは必ずデータを確認した後に実行してください。
- フォーマッター起動中はカードの取り出しを行わないでください。
- P2 ドライブ（AJ-PCD10 を除く）でご使用の場合、カードのフォーマット後、フォーマット対象外のカードにもアクセスするため、アクセスインジケーターが点滅します。アクセスインジケーター点滅中はカードの取り出しは行わないでください。
- 「ボリュームラベルにシリアル番号を使用する」にチェックを入れると、ボリュームラベル名として P2 カードのシリアル番号が自動的に入力されます。ただし、シリアル番号から変更して、別の名前を入力すると変更された名前でボリュームラベル名が設定されます。
- E シリーズの P2 カード、または F シリーズの P2 カード /microP2 カード（CPS 認証済）の場合、P2 カードの残寿命が以下のように表示されます。

残寿命	表示色	表示
100%～61%	青色	
60%～21%	緑色	
20%～9%	黄色	
8%～1%	赤色	
0%	赤色	RUN DOWN CARD

- 「RUN DOWN CARD」が表示された場合は、フォーマットを正常に行うことができません。
  1 週間以内のデータバックアップとカード交換をおすすめします。
  引き続き使用された場合、正常に記録、または再生されないことがあります。
- 完全消去機能は書き込み動作と同等の処理を行いますので、残寿命が減少します。

4. 各 P2 デバイス専用ソフトウェア

各 P2 デバイス専用ソフトウェアのインストール方法、使用方法については、各 P2 デバイスの取扱説明書を参照してください。

CPS 暗号化機能について

CPS 暗号化機能は、microP2 カードで使用可能な、コンテンツ保護機能です。
カードの CPS 暗号化機能を有効にすると、データがすべて暗号化された状態で記録され、パスワードを入力しないとカードの内容が確認できないようになります。
CPS 暗号化機能を使用する場合、パーソナルコンピューターに以下のソフトウェアがインストールされている必要があります。

- P2 ソフトウェア
- P2 Viewer Plus

下記ウェブサイトからダウンロードして、インストールを行ってください。
http://panasonic.biz/sav/

CPS 暗号化機能の使用方法については、P2 Viewer Plus のヘルプを参照ください。

Memo

Panasonic Corporation
Web Site: http://panasonic.net

© Panasonic Corporation 2009